

# 団体名 気軽にすけっと 学習会「緊急時の対応について」

## ■活動の内容

住民が住み慣れた地域で、安心、安全に住み続けられるように、お互いの困りごとを助け合う活動を実践されています。

今回は、学習会「緊急時の対応について」の視察に伺いました。

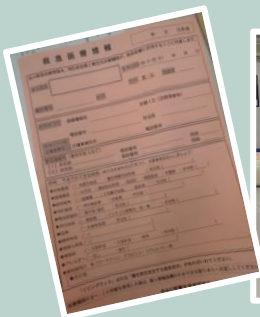
□日時：12月3日 AM9：30～11：30

□場所：ほっとルームとみた 中川区春田

□参加：12名 消防1名 生協スタッフ1名



## 学習会の様子



## ■活動の様子

「具合が悪いんだけど、救急車を呼んでもいいんだろうか」そんな相談電話がかかってきたことが、今回の企画のきっかけだったとのこと。判断に迷って命の危険におよんでも・・・と早速勉強会を実施。中川消防署から講師を招き、救急搬送が必要な症状についての詳しい説明や、いざという時、慌てないための日ごろからの準備についてお話しいただきました。「救急車に乗るのに、必ず持っていくものは？」との質問に、「保険証は後でも良い。一番大切なのはお薬手帳です」と講師。皆さんなるほど！とメモを取られてました。また、代表より「救急医療情報」を周知する抜群のアイデア（下記写真参照）を紹介されるなどの場面も。さらに、転倒防止チェックあり、室内の安全対策のお話しありと、大変盛沢山の内容でした。

その後、定例会へ。

各地域の担当者より、前回会議からの活動について報告の後、討議事項では、24日企画の「子ども食堂」について、念入りに段取りを確認されていました。県他、子ども食堂を支援するネットワークに登録し、食材を調達する準備完了。実現に向け、一步を踏み出し準備の真っ最中。視察当日は午後より「プレ子ども食堂」として、29日の本番に先立ち、食材を配布する活動を、まずはやってみるとのことです。精力的で地道な活動が地域に根付いている姿が伝わってきました。



↑「救急医療情報」を筒にまとめてなんと冷蔵庫へ